



## 2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月7日

東

上場会社名 株式会社天満屋ストア

上場取引所

コード番号 9846

URL <https://www.tenmaya-store.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野口 重明

問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 國府 慎一郎 (TEL) 086-232-7265

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年2月期第3四半期の連結業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第3四半期	44,053	1.0	1,579	△4.9	1,658	△6.3	909	△19.8
2025年2月期第3四半期	43,634	0.4	1,661	7.3	1,770	8.0	1,134	33.6

(注) 包括利益 2026年2月期第3四半期 1,021百万円( △16.0%) 2025年2月期第3四半期 1,215百万円( 34.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第3四半期	79.19	—
2025年2月期第3四半期	98.82	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第3四半期	45,779	27,202	59.3
2025年2月期	42,050	26,338	62.5

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 27,163百万円 2025年2月期 26,300百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭 —	円 銭 7.00	円 銭 —	円 銭 7.00	円 銭 14.00
2026年2月期	—	7.00	—		
2026年2月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年2月期の連結業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
	59,200	0.9	2,400	5.1	2,450	1.8	1,580	0.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

	2026年2月期 3Q	2025年2月期	11,550,000株
2026年2月期 3Q	61,135株	2025年2月期	66,731株
2026年2月期 3Q	11,487,810株	2025年2月期 3Q	11,483,269株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復傾向が続くものの、物価上昇の継続による個人消費への影響や米国の通商政策などにより、消費者の商品や価格への選別意識は厳しさを増しており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

小売業界におきましても、価格上昇の長期化による消費者の節約志向は根強く残り、商品や価格への選別意識は厳しさを増しております。

こうしたなか、当社グループは、営業力強化と生産性向上に取り組むとともに、危機管理やコンプライアンスの徹底によるコーポレート・ガバナンスの強化にも努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益(売上高及び営業収入)は440億53百万円(前年同四半期比1.0%増)、営業利益は15億79百万円(前年同四半期比4.9%減)、経常利益は16億58百万円(前年同四半期比6.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億9百万円(前年同四半期比19.8%減)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### (小売事業)

小売事業につきましては、生鮮食品を中心に主力商品のさらなる強化と地産地消などの特色ある品揃えにより商品価値を向上させ、時間帯別の品揃えの充実などにより販売力強化にも取り組んでまいりました。また、原材料価格の高騰による相次ぐ値上げへの対応として、「超得」によるE D L P(低価格戦略)の充実に取り組み、販促の強化として「割引の日」を導入し、カテゴリーや単品の割引訴求をすることで、集客力の向上とさらなる売上拡大に取り組んでまいりました。さらに、9月に和気店(岡山県和気郡)及びアリオ倉敷店(岡山県倉敷市)、11月に大安寺店(岡山市北区)の改装を行い、既存店の活性化にも努めてまいりました。加えて、8月に子会社の株式会社ヒナセショッピングセンターの塩屋店(兵庫県赤穂市)及び日生店(岡山県備前市)の改装を行い、店舗の活性化と売上拡大に努めてまいりました。そのほか、地元高校と連携した地元食材を使用した商品開発や販売、自治体や学校法人との包括協定締結など地域・社会貢献にも取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の小売事業の営業収益は380億79百万円(前年同四半期比0.8%増)、営業利益は13億32百万円(前年同四半期比2.3%減)となりました。

#### (小売周辺事業)

小売周辺事業につきましては、惣菜等調理食品の製造販売及び飲食事業が主なものであり、原材料価格高騰の影響を受け、厳しい経営環境が続くなか、引き続き徹底した品質管理と衛生管理に努めるとともに、商品開発の強化に取り組んでまいりました。また、3月には子会社の株式会社でりかエッセンが岡山県初となる「おめで鯛焼き本舗」をさんすて岡山(岡山市北区)2階にオープンし、2店舗目として9月にアリオ倉敷店(岡山県倉敷市)にオープンいたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の小売周辺事業の営業収益は59億73百万円(前年同四半期比1.8%増)、営業利益は2億46百万円(前年同四半期17.1%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ37億29百万円増加し、457億79百万円となりました。これは主に、建設仮勘定の増加などにより有形固定資産が25億81百万円増加し、売掛金の増加などにより流動資産が10億89百万円増加したことなどによるものであります。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ28億65百万円増加し、185億76百万円となりました。これは主に、設備関係電子記録債務の増加により流動負債が16億27百万円増加し、長期借入金の増加などにより固定負債が12億38百万円増加したことなどによるものであります。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億64百万円増加し、272億2百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね計画どおり推移しておりますので、2025年10月10日公表の業績予想からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	571,768	827,412
売掛金	1,533,005	1,970,313
商品	1,666,265	1,837,957
貯蔵品	22,897	29,046
その他	1,826,692	2,045,262
流動資産合計	5,620,630	6,709,992
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	10,077,624	9,917,456
土地	14,360,648	14,251,147
その他(純額)	2,188,142	5,039,255
有形固定資産合計	26,626,415	29,207,858
<b>無形固定資産</b>		
のれん	455,005	421,980
その他	2,509,366	2,596,766
無形固定資産合計	2,964,371	3,018,747
<b>投資その他の資産</b>		
差入保証金	1,513,009	1,455,503
敷金	3,211,822	3,170,159
その他	2,126,893	2,229,793
貸倒引当金	△13,100	△12,400
投資その他の資産合計	6,838,625	6,843,056
固定資産合計	36,429,412	39,069,662
資産合計	42,050,043	45,779,655

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	3,009,658	3,620,393
電子記録債務	402,030	460,894
短期借入金	3,821,799	2,191,047
未払法人税等	324,988	229,392
賞与引当金	122,538	19,059
その他	4,067,673	6,854,918
<b>流動負債合計</b>	<b>11,748,686</b>	<b>13,375,706</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	4,000	1,218,965
役員株式給付引当金	56,934	57,385
利息返還損失引当金	2,510	2,510
退職給付に係る負債	1,170,270	1,178,856
資産除去債務	417,419	539,449
長期預り保証金	50,634	39,243
長期預り敷金	1,624,880	1,628,906
その他	635,812	535,714
<b>固定負債合計</b>	<b>3,962,462</b>	<b>5,201,031</b>
<b>負債合計</b>	<b>15,711,149</b>	<b>18,576,737</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,750	5,347,750
利益剰余金	17,277,250	18,025,354
自己株式	△77,883	△71,352
<b>株主資本合計</b>	<b>26,244,617</b>	<b>26,999,252</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	125,459	219,682
退職給付に係る調整累計額	△69,891	△54,987
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>55,567</b>	<b>164,694</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>38,708</b>	<b>38,970</b>
<b>純資産合計</b>	<b>26,338,893</b>	<b>27,202,917</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>42,050,043</b>	<b>45,779,655</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	41,192,717	41,656,802
売上原価	29,363,639	29,852,994
売上総利益	11,829,077	11,803,808
営業収入	2,442,161	2,396,997
営業総利益	14,271,238	14,200,806
販売費及び一般管理費	12,609,917	12,621,597
営業利益	1,661,320	1,579,208
営業外収益		
受取利息	1,838	2,135
受取配当金	55,553	56,149
協賛金収入	12,125	7,421
補助金収入	38,929	35,216
その他	31,210	22,764
営業外収益合計	139,657	123,687
営業外費用		
支払利息	27,277	31,190
その他	3,567	13,451
営業外費用合計	30,845	44,641
経常利益	1,770,133	1,658,254
特別利益		
固定資産売却益	20,825	10,536
特別利益合計	20,825	10,536
特別損失		
固定資産除却損	32,324	73,302
店舗閉鎖損失	45,708	201,433
支払補償費	9,650	—
特別損失合計	87,682	274,736
税金等調整前四半期純利益	1,703,276	1,394,054
法人税等	564,557	481,588
四半期純利益	1,138,719	912,465
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,893	2,662
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,134,825	909,803

## 四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	1,138,719	912,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63,006	94,222
退職給付に係る調整額	14,078	14,903
その他の包括利益合計	77,085	109,126
四半期包括利益	1,215,804	1,021,592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,211,910	1,018,929
非支配株主に係る四半期包括利益	3,893	2,662

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント(千円)		合計(千円)	調整額(千円)	四半期連結 損益計算書 計上額(千円) (注) 1
	小売事業	小売周辺事業			
営業収益					
食料品	32,849,261	5,769,108	38,618,369	—	38,618,369
生活用品	702,589	—	702,589	—	702,589
衣料品	1,808,684	—	1,808,684	—	1,808,684
その他	636,598	100,555	737,153	—	737,153
顧客との契約から生じる収益	35,997,133	5,869,663	41,866,797	—	41,866,797
その他の収益	1,768,080	—	1,768,080	—	1,768,080
外部顧客への営業収益	37,765,214	5,869,663	43,634,878	—	43,634,878
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	124,927	1,359,653	1,484,581	△ 1,484,581	—
計	37,890,141	7,229,317	45,119,459	△ 1,484,581	43,634,878
セグメント利益	1,363,769	297,551	1,661,320	—	1,661,320

(注) 1 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 営業収益は、売上高及び営業収入の合計額であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

## 1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント(千円)		合計(千円)	調整額(千円)	四半期連結 損益計算書 計上額(千円) (注)1
	小売事業	小売周辺事業			
営業収益					
食料品	33,335,296	5,966,614	39,301,911	—	39,301,911
生活用品	633,953	—	633,953	—	633,953
衣料品	1,657,409	—	1,657,409	—	1,657,409
その他	738,611	7,258	745,869	—	745,869
顧客との契約から生じる収益	36,365,271	5,973,873	42,339,145	—	42,339,145
その他の収益	1,714,655	—	1,714,655	—	1,714,655
外部顧客への営業収益	38,079,926	5,973,873	44,053,800	—	44,053,800
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	62,114	461,136	523,251	△ 523,251	—
計	38,142,041	6,435,010	44,577,051	△ 523,251	44,053,800
セグメント利益	1,332,592	246,615	1,579,208	—	1,579,208

(注) 1 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 営業収益は、売上高及び営業収入の合計額であります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	1,096,288千円	1,143,031千円
のれんの償却額	33,024千円	49,705千円